

つ
ど
い

岡山県偕行会

令和7年度定期総会

広報担当理事 綱島俊昭 陸自81

岡山県偕行会は、去る5月11日（日）10時から、岡山地方協力本部会議室等において次により、総会等を開催した。



1 定期総会

参加者は、元自衛官8名で、10時、開会の辞に続き国旗に敬礼・国歌斉唱、続いて角南会長（陸自75）が開会の挨拶を行い、議事に入った。

議案は、令和6年度事業実績報告、同

取支決算報告、監査結果報告が承認され
た後、令和7年度事業計画並びに予算計
画について審議し、滞りなく承認された。
特に、令和6年度事業実績報告では、事
業推進施策として「忠魂碑等の現況調査
の継続」を図り、秋の集中調査により、
新たに16か所の忠魂碑を発見するととも
に、「吉備の国巡礼ウォーク」に2回参
加し、9か所の忠魂碑の現況を把握した。
また、昨年度から実施をしている「近現
代史・思想の調査及び研究」の第2回の
催しとして、元幹部陸上自衛官有志執筆
の「現代戦研究2024」を資料とし
て勉強会を実施し、参加者相互の意見を
交換するとともに理解を深めた。

令和7年度事業計画では、方針として
「世代交代による内部態勢の充実を図り
つつ、偕行社設立の根本精神「英靈に敬
意を」「日本に誇りを」を継承し、戦没
者の慰靈顕彰及び陸上自衛隊への支援を
主体に事業を推進」し、また「近現代史・
思想の調査及び研究を実施する」事を重
点に事業を推進していくことにして全員
の賛同を得た。

2 講演会並びに情報交換会

その後、場所を移して、昨年度同様に
岡山県隊友会との共催行事として、11時
30分から約1時間、海上自衛隊呉地方總
監部幕僚長 今野泰樹海将補による「海
上自衛隊・呉地方隊」と題した防衛講話

を拝聴した。

今野泰樹 海将補は、昨今のインド・
太平洋地域における安全保障環境の厳し
さの高まりとともに、海上自衛隊・呉地
方隊の任務と重要度の増大について、
ユーモアを交えた興味深い講話を聞くこ
とができる大変有意義であった。

続いて、13時15分から情報交換会を実
施したが、岡山県隊友会と共に催のため旧
知のOBとも再会して近況を交換し合
うなど、相互理解を深めた。
約2時間の楽しい時間はあつという間
に過ぎて、名残惜しかったが来年の再会
を約して散会となつた。

青森県偕行会 「第2回弘前忠靈塔例大祭」等 に協力

7月27日（日）「第3回弘前忠靈塔例
大祭」が行われた。遺族会や県偕行会、
県隊友会、弘前駐屯地などの関係者や國
會議員、県議ら約60人が参列し、戦没者
を供養するとともに平和への祈りを捧げ
た。県偕行会は、例大祭への協力は勿論、
前日の同塔周辺の草刈り清掃奉仕にも現
役自衛官70名の協力を得て協力した。同
草刈り清掃奉仕は昨年からは例大祭前日
に行うこととなつた。草刈り清掃が終
わった会場では、テント張り等の例大祭